

第7回世界水フォーラム デイリー速報 プレ号

4月12日(日)から、いよいよ第7回世界水フォーラムが始まります



1. はじめに

第7回世界水フォーラムが4月12日より、韓国・大邱市および慶尚北道を会場として始まります。

世界水フォーラムのアジア開催は、2003年、第3回世界水フォーラムが日本の琵琶湖・淀川流域で開催されて以来12年ぶりです。

今回も日本から、産官学民すべての分野から多くの水関係者が参加し、地球規模で取り組むべき水問題の解決に向け、様々な取組を予定しています。

日本水フォーラムでは、第7回世界水フォーラムの会期中、会議の様様や日本からの参加者の活動について、現地から速報を配信します。

プレ号

1. はじめに
2. 第7回世界水フォーラムの
スローガン“Water for Our Future”
3. 注目プログラム
4. デイリー速報発行予定

2、第7回世界水フォーラムのスローガン“Water for Our Future”

◆世界の水の未来 日本の水の未来



市中に掲げられたフォーラム歓迎横断幕

今回、スローガンに「未来」が掲げられる背景は、世界が直面する「水の変化」に対する危機感です。

地球規模の気候変動と急激な人口増加の中で、もたらされる水の変化は、水災害の危険性の増大、食糧危機、都市の衛生問題の悪化などを招き、人類の大きな脅威になります。これらの課題に対して、グローバルな視点に立ったローカルなアプローチを多様なセクターから展開させていくことが第7回世界水フォーラムの大きな意義といえるでしょう。

これまで世界の水問題の課題克服に向けたベンチマークとなってきたのが「国連ミレニアム開発目標(MDGs)」ですが、最終目標年を迎えた現在、ポストMDGsの役割を担う「持続可能な開発目標(SDGs)」の策定議論が佳境に入っています。したがって、持続的な未来の構築に向け、水関連課題から、いかにアプローチできるかが今回の世界水フォーラムの、重要な焦点のひとつになります。

本年はまた、「国連気候変動枠組条約(UNFCCC)」の「第21回締約国会議」が開催される年でもあります。気候変動に伴う水の変化は今や、わが国の身近な所にも大きな影響を与えているばかりか、国際的な水問題も決して日本に無縁ではありません。水災害や食料・農業の問題をはじめとする多くの課題が、わが国の経済活動や人々の生活・家計に直接影響を与えているのです。

世界の水の未来は、日本の水の未来に直結するものです。第7回世界水フォーラムの会期中、現地から配信する速報では、日本の取組を中心として、その当事者意識にも光を当てながら、日々の模様をお伝えしてまいります。

3、注目プログラム

日本水フォーラムは、アジア・太平洋水フォーラム(APWF)事務局として地域プロセスの主導、日本政府主催日本パビリオンの企画・運営、京都世界水大賞の主催など、主要な取組に携わっています。

- » [第7回世界水フォーラム アジア太平洋地域プロセスに関する詳細はこちら](#)
- » [第7回世界水フォーラム 日本パビリオンに関する詳細はこちら](#)
- » [第4回京都世界水大賞に関する詳細はこちら](#)

4、デイリー速報発行予定

4/10 (金) : プレ号	4/13 (月) : Vol.1	4/14 (火) : Vol.2
4/15 (水) : Vol.3	4/17 (金) : Vol.4	4/20 (月) : 最終号

※予告なく変更することがあります。

発行：特定非営利活動法人 日本水フォーラム

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-4 アライズ第2ビル6階 URL: <http://www.waterforum.jp>

取材協力：日本水道新聞社 東京都千代田区九段南4丁目8番9号 日本水道会館1F URL: <http://www.suido-gesuido.co.jp>

※この速報は、日本の皆様に、世界水フォーラムの議論の内容や、日本の関係者の皆様の活動をお伝えするために、日本水フォーラムがとりまとめているものです。

内容は、速報暫定版のため後日修正されることがあります。発行予定は予告なく変更することがあります。